

ヤンゴンとその他地域の生活実態に関するアンケート調査 ～大学卒業者の家庭の比較～

2016年9月

日本貿易振興機構(ジェトロ)

ヤンゴン事務所

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

アンケートの概要

アンケート概要

1. アンケート対象者：ヤンゴン市内の企業に採用試験を受けに来た1,100人
2. 回答数：966人
3. 実施期間：2016年7月～8月
4. 調査手法：Japan SAT Consulting社の協力により質問票形式で実施した。
5. 調査結果の限界：主なアンケート回答者は大卒で、「中所得者以上の家庭環境」といえる。

アンケート集計方法

アンケート回答者の出身地で分類

- ①ヤンゴン市出身者：ヤンゴン市
- ②ヤンゴン市を除く州都・管区都の出身者：州・管区都
- ③州都・管区都以外の地域の出身者：州・管区都外

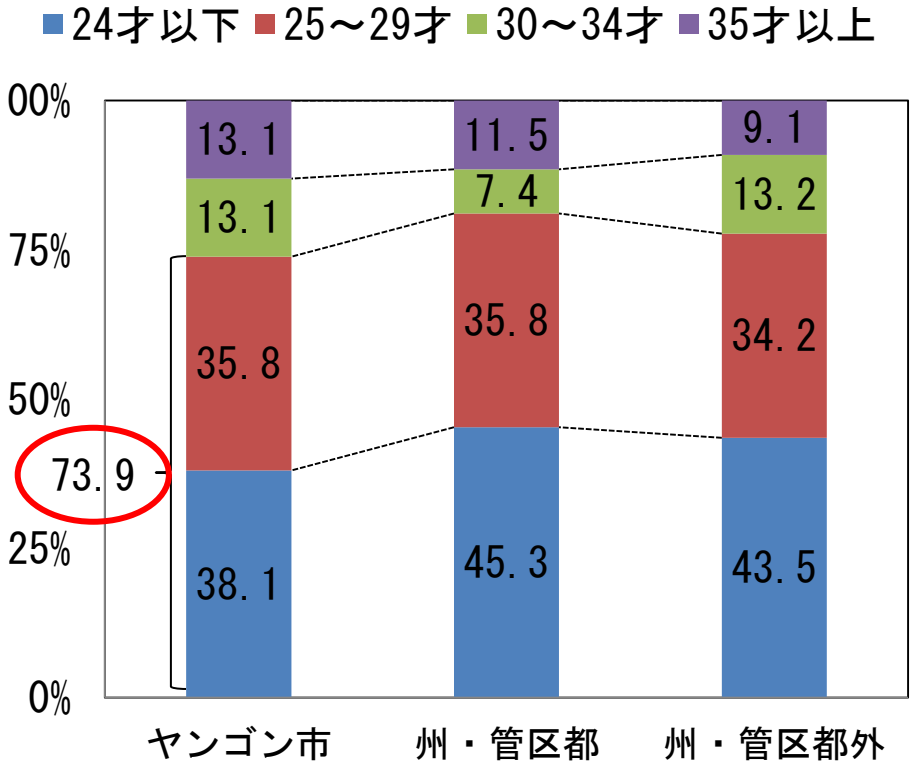
(例) シャン州タウンジー出身者ならば「州・管区都」

シャン州タウンジー以外の都市出身者ならば「州・管区都外」

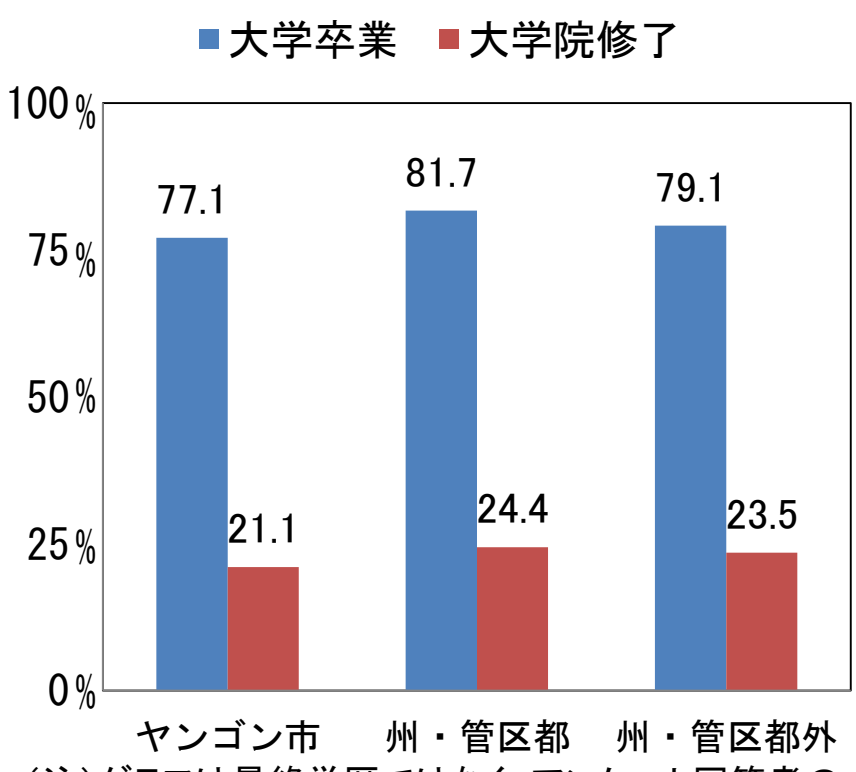
年齢層と学歴

- アンケート回答者の年齢層は29才以下が7割以上。
 - 回答者の学歴の7割以上が大学卒。さらに2割程度の大学院修了者。
 - 回答者の家庭環境は中所得者以上の家庭環境。
- ※ミャンマーでは小学校で退学する者も多く大学以上の就学率は8.7%程度（ジェットロ調べ）

アンケート回答者の年齢層



アンケート回答者の学歴



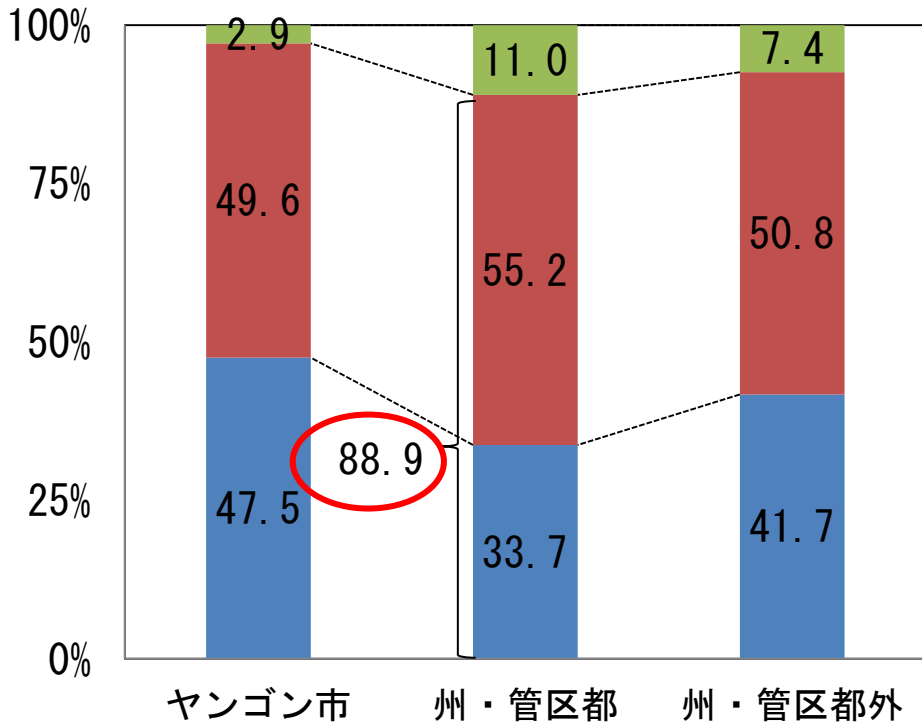
(注) グラフは最終学歴ではなく、アンケート回答者の大学卒業者、大学院修了者の比率を示す

家族の構成と家庭の部屋数

- 回答者の家族構成は7人以下の家族が9割程度。4人以下の家族も一定数以上。
- 回答者の家庭の部屋数は3部屋以下が過半数を占める。
- 家族構成や部屋数について地域に大きな差はなし。

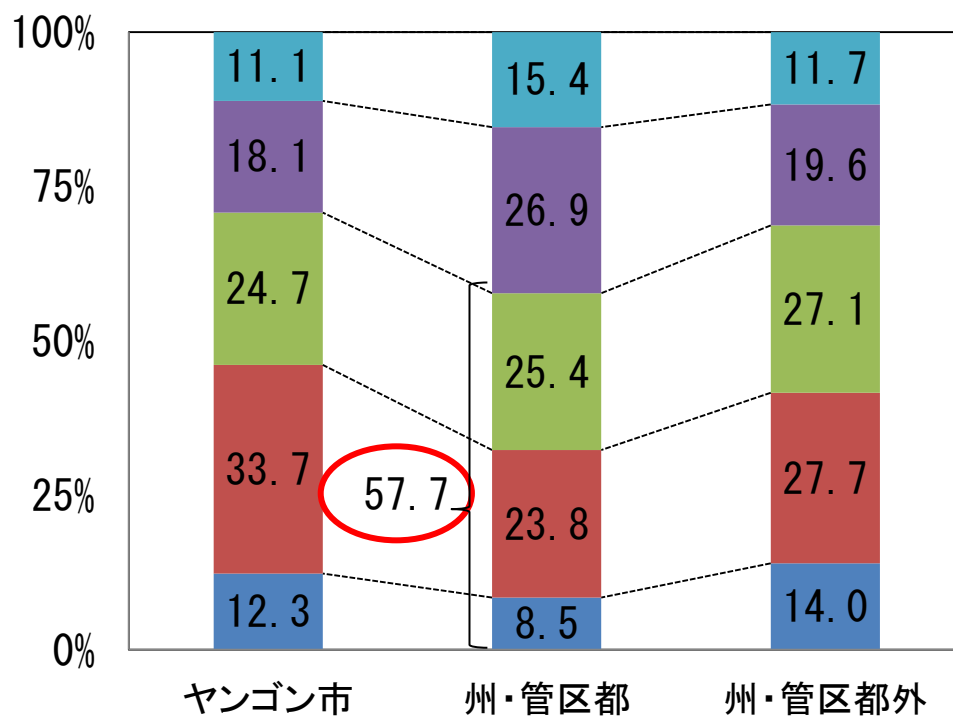
家族構成

■ 4人以下 ■ 5~7人 ■ 7人以上



家庭の部屋数

■ 1部屋 ■ 2部屋 ■ 3部屋 ■ 4部屋 ■ 5部屋以上

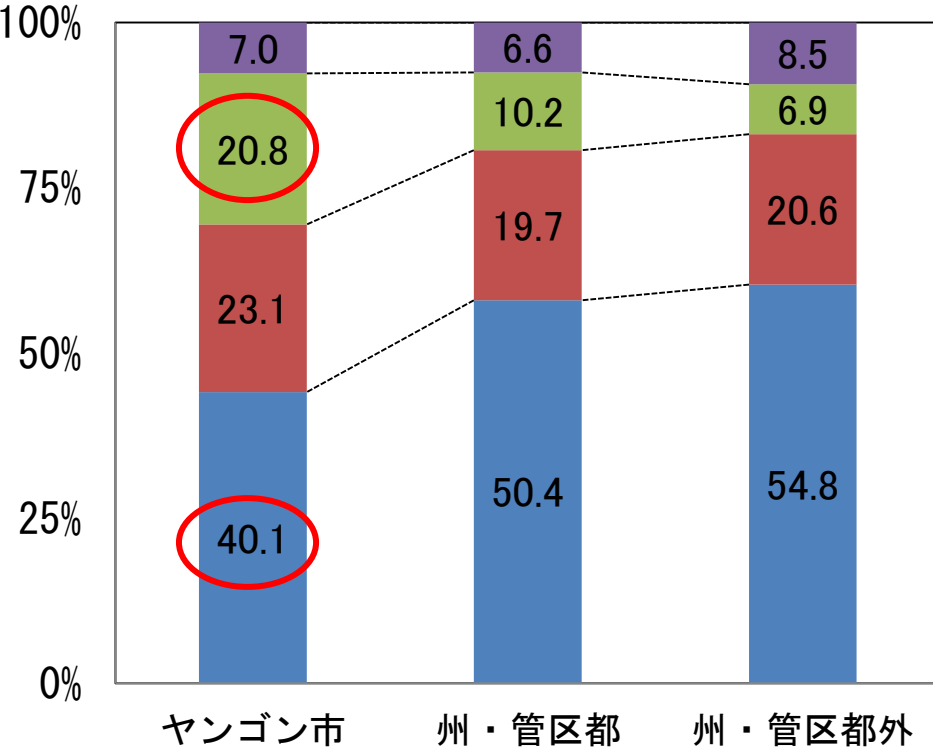


家庭の所得

- 主となる所得者は「父親」。ヤンゴン市は「兄弟／姉妹」や「自分」の比率が高い。
- 主となる所得者の勤務先は、ヤンゴン市は「会社」が過半数。それ以外の地域は政府、農家の比率が高い。「外国出稼ぎ」の回答も20%以上。
- ヤンゴン市は会社数が多く、若者が働く環境がある程度整っている。

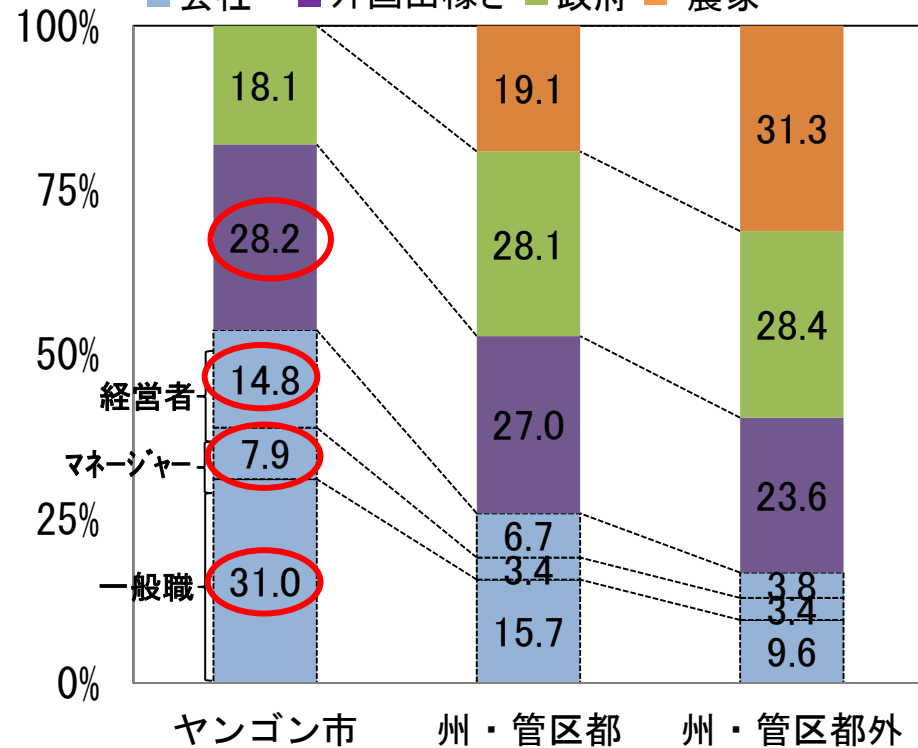
主となる所得者

■ 父親 ■ 兄弟/姉妹 ■ 自分 ■ 母親



主となる所得者の勤務先(その他除く)

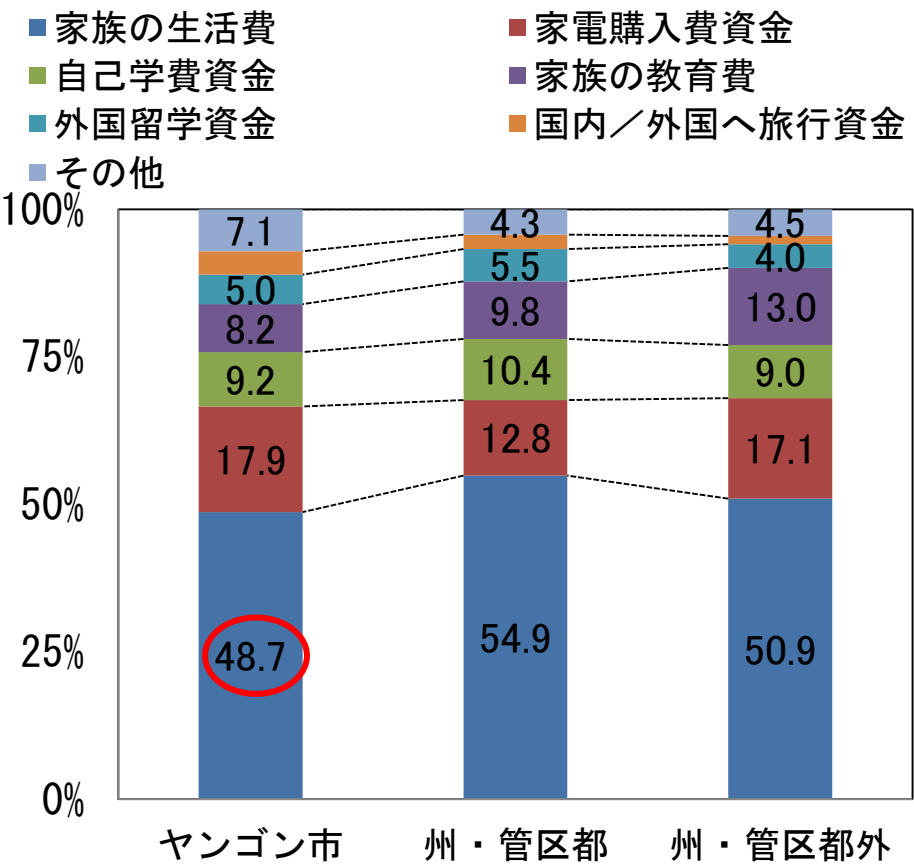
■ 会社 ■ 外国出稼ぎ ■ 政府 ■ 農家



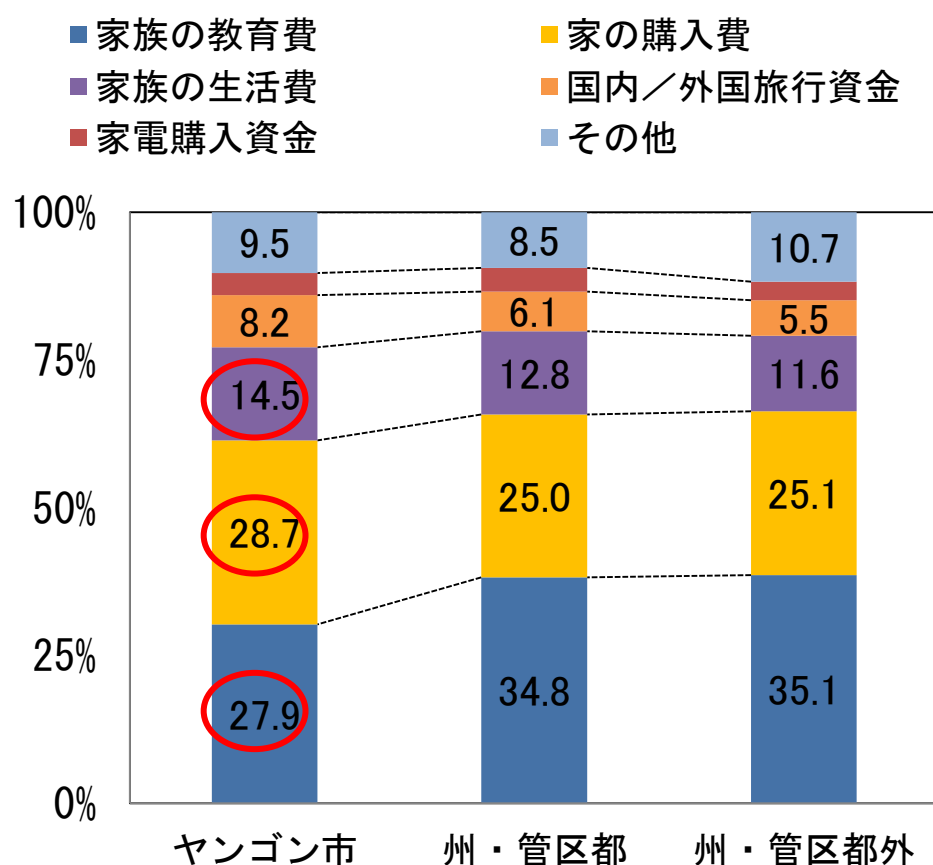
給与の使い道と家族が必要としているもの

- 給与の使い道は、半分程度が「家族の生活費」。
- 家族が必要としているものは「家族の教育費」、「家の購入費」、「家族の生活費」の順で、ヤンゴン市では「家族の教育費」より「家の購入費」の方が大きい。
- 趣味・贅沢品への支出に関する回答は少ない。

給与の使い道



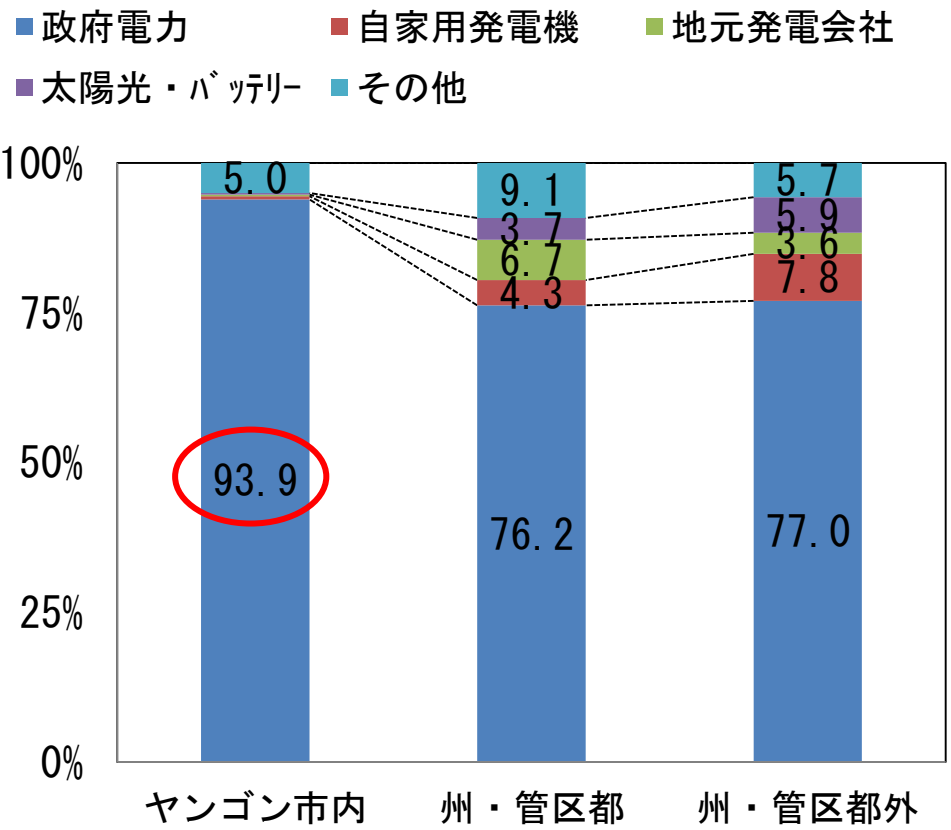
家族が必要としているもの



家庭への電力供給

- アンケート回答者の多くの家庭は、政府からの電力の供給がなされている地域。
- 州・管区都外は、自家用発電機や太陽光パネル、バッテリーを使用する家庭の比率が大きい。

家庭への電力供給



家電製品の保有率

- テレビやスマートフォンの保有率は各地域9割程度。
- シャワー用温水器や掃除機の保有率はヤンゴン市でも2割に満たない。
- 生活家電の保有率に係る地域間格差は大きい。

家電製品の保有率 (単位:%)

項目	ヤンゴン市	州・管区都	州・管区都外	項目	ヤンゴン市	州・管区都	州・管区都外
テレビ	93.7	90.9	87.2	電子レンジ	23.2	14.0	10.2
スマートフォン	92.9	84.8	85.5	室内灯	79.2	75.6	71.3
固定電話	42.6	39.6	39.8	アイロン	69.7	63.4	57.6
エアコン	53.4	27.4	20.9	卓上スタンド	47.9	42.7	37.4
洗濯機	64.7	30.5	24.4	電気ポット	67.4	62.2	57.8
乾燥機	11.3	6.7	3.8	パソコン	68.2	57.3	37.9
冷蔵庫	73.7	46.3	37.4	美容・健康器具	10.0	7.3	3.6
掃除機	16.3	10.4	5.2	CD/DVD	75.5	61.0	67.3
温水器	17.6	12.8	7.1				

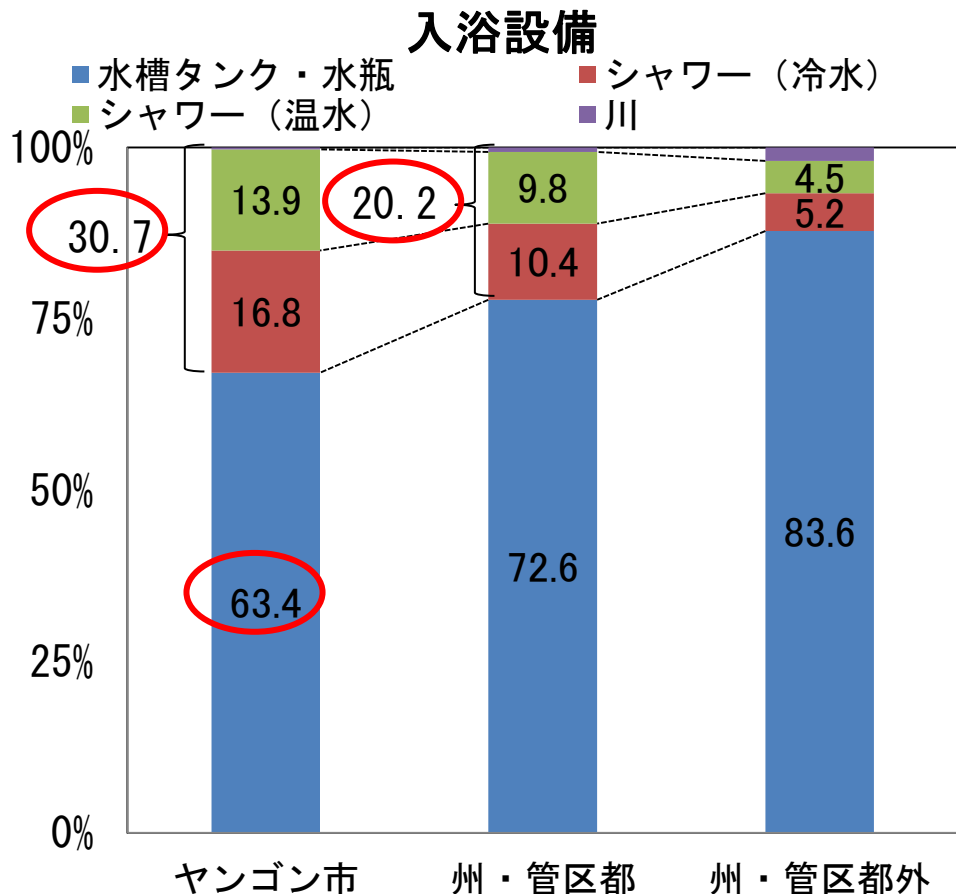
(注) アイロンは薪を利用したものを含む。ヤンゴン市の保有率が20ポイント未満は黄色でハイライト。

ヤンゴン市と州・管区都外の差が10ポイント以上あるものは赤字。

2014年国勢調査結果によると、テレビは49.5%、固定電話は4.8%、スマートフォンは32.9%、パソコンは3.5%であった。このことから、回答者の家庭の所得が全国平均以上といえる。

入浴設備

- 全国的に、主な入浴設備は「水槽タンク・水瓶」を使用する方法。
- シャワーの使用はヤンゴン市が30.7%、州・管区都が20.2%。
- シャワーは温水より冷水である傾向が大きい。

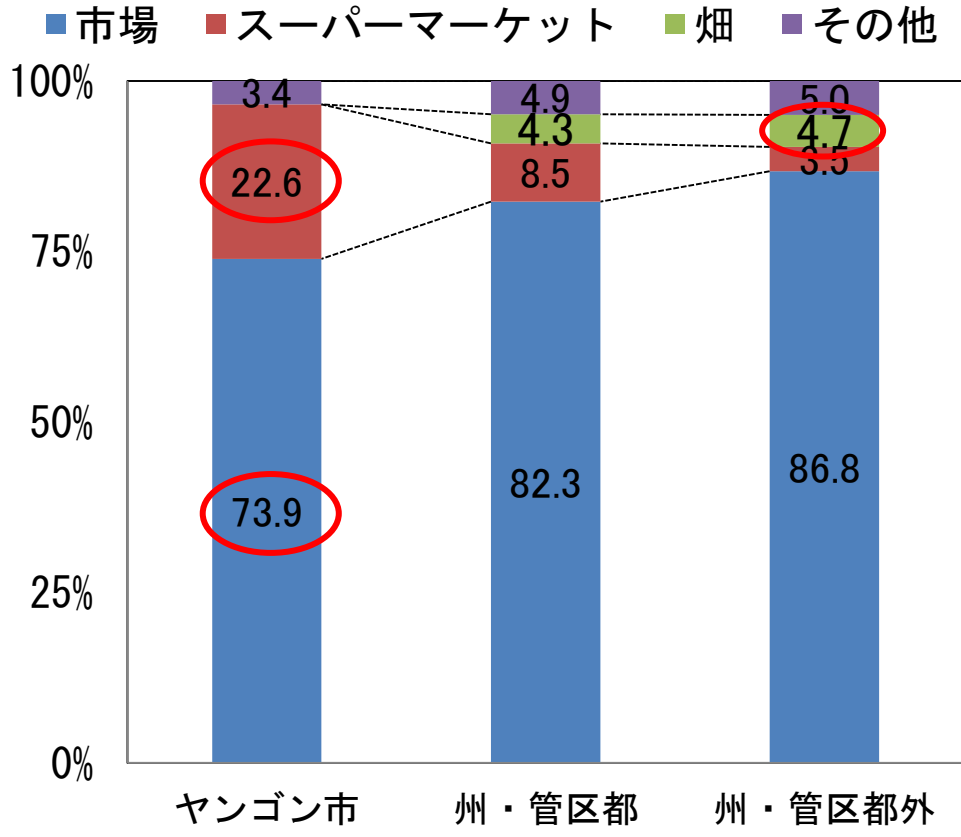


(注) 水槽タンク・水瓶に水を溜め、たらい等で水をすくい、水をかけながら洗う方法

食材の購入先

- 食材の主な購入先は「市場」で7割を超える。
- ヤンゴン市は「スーパーマーケット」で購入する者が22.6%を占め、都市部を中心としたスーパーマーケットの進出で、購入先が変化しつつある。
- 州・管区都外では自分の「畑」との回答も5%程度。

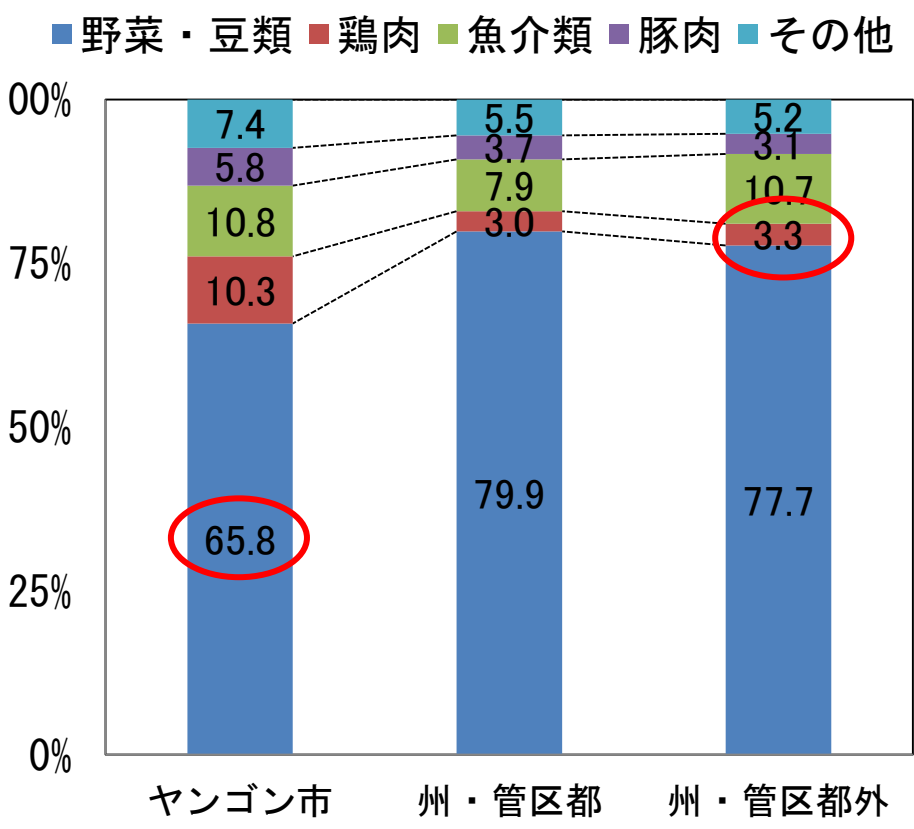
食材の購入先



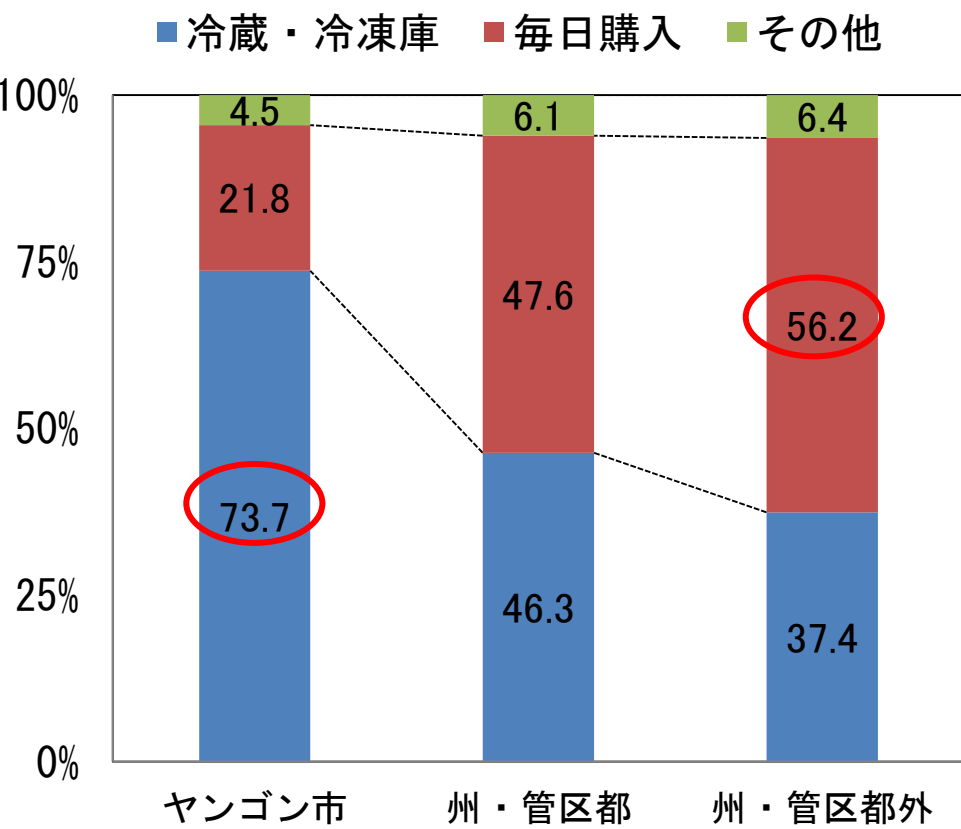
購入する食材の品目と食材の保管先

- 食材の品目は野菜・豆類が多い。ヤンゴン市は、鶏肉や魚介類も一定数購入されている。地方になるほど鶏肉の購入比率が低い。
- 冷蔵庫の使用率はヤンゴンが圧倒的であり、地方になるほどその日の食材をその日に購入し、消費する傾向が強い。

購入する食材の品目(コメ除く)

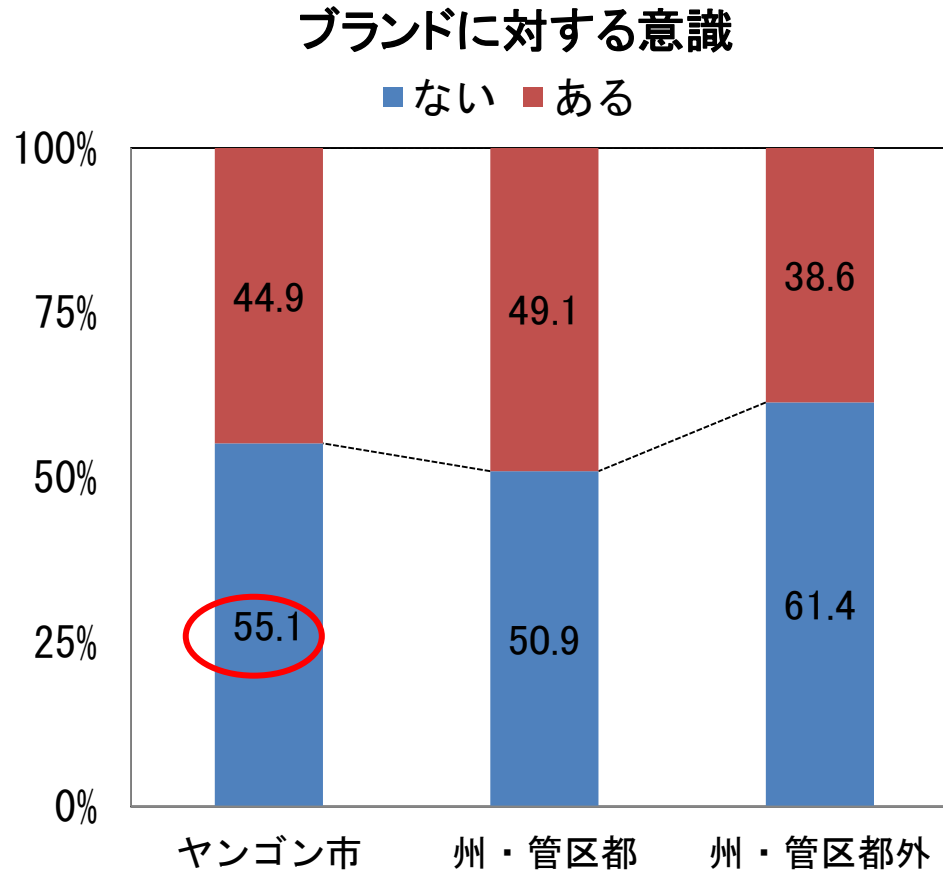


家庭の食料品の保管場所



ブランドに対する意識

- ブランドに対する意識は、ヤンゴン市、州・管区都、州・管区都外いずれにおいても、「ない」との回答が50%以上。



バイク・自動車・自転車

- ヤンゴン市以外のバイクの保有率は7割以上で、1家庭あたりの所有台数は1台以上。
- 自動車の保有率はヤンゴン市が高いものの、3割程度。
- 自転車の保有率は州・管区都外で6割程度で、1家庭あたりの所有台数は1台以下。

バイク・自動車・自転車の保有率および1家庭あたりの平均保有台数（単位：％、台）

	バイク		自動車		自転車	
	保有率	保有台数	保有率	保有台数	保有率	保有台数
ヤンゴン市	11.3	0.12	34.5	0.45	41.8	0.53
州・管区都	70.7	1.40	22.0	0.23	45.7	0.63
州・管区都外	71.8	1.28	18.0	0.21	59.0	0.88

（注）2014年国勢調査結果によると、自動車の普及率は3.1%、バイクの普及率は38.7%、自転車の普及率は35.9%であった。このことから、回答者の家庭の所得が全国平均以上といえる。

レポートをご覧いただいた後、アンケート(所要時間:約1分)にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20160057>

本レポートに関する問い合わせ先:

日本貿易振興機構(ジェトロ)ヤンゴン事務所

#102-103, Prime Hill Business Square No.60 Shwe Dagon Pagoda Road,

Dagon Township, Yangon, Myanmar

Tel: 95-1-371787

MY@jetro.go.jp